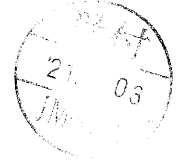


3ス庁第900号
令和3年11月29日

各都道府県知事
各指定都市市長
各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各国公立大学長
附属学校を置く各公立大学法人の理事長
各国公立高等専門学校長 殿
構造改革特別区域法第12条1項の
認定を受けた各地方公共団体の長
公益社団法人日本山岳・
スポーツライミング協会会長
公益財団法人全国高等学校体育連盟会長



スポーツ庁次長
申田俊巳

冬山登山の事故防止について（通知）

登山事故の防止については、例年関係方面の御協力をいただいているところですが、冬山登山における遭難事故は依然として多く発生しております。さらに、登山する山が火山の場合には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所がありますので、気象庁や各都道府県等が発表している最新の情報を入手し、十分に注意する必要があります。

スポーツ庁においても、過去の遭難事事故例及びその発生原因、スポーツ事故・外傷・障害の防止に関する理解を深めるため、登山部顧問などのスポーツ指導者等を対象としたスポーツ施設等安全管理講習会（登山部顧問等安全登山講習会）や、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所の主催による安全登山指導者研修会等、冬山登山の事故防止に係る施策の一層の充実に努めておりますが、貴職におかれても、別紙1「冬山登山の警告」及び別紙2「冬山登山の事故防止について」（平成29年12月1日付け通知）を関係機関・団体及び関係者に周知されるとともに、関係機関・団体及び関係者との密接な協力の下、全ての登山者及び登山関係者の冬山における事故防止に万全を期されるよう御配慮願います。

なお、高校生（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。）及び高等専門学校第1学年から第3学年までに属する生徒（以下「高校生等」という。）の冬山登山については、別紙2のとおり、原則として行わないよう、適切な対応をお願いしております。貴職におかれましては、引き続き適切な対応をお願いします。

加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大防止については、政府や都道府県の方針・要請及び以下の新型コロナウイルス感染情報※を参考に、適切な対応に努めていただくようお願いします。

※新型コロナウイルス感染症関連情報

○スポーツ庁 HP

「新型コロナウイルス感染防止のための新しい登山様式（山岳遭難対策中央協議会）」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200807-spt_kensport01-000009263_3.pdf

「登山再開に向けてのガイドライン（公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会）」

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200807-spt_kensport01-000009263_4.pdf

○文部科学省 HP 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理

マニュアル～「学校の新しい生活様式」

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html

○厚生労働省 HP 「新型コロナウイルス感染症について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#houshin

このことについて、都道府県知事におかれては、所管の関係部局・機関・団体及び高等学校（中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を含む。以下「高等学校等」という。）並びに域内の指定都市を除く市区町村に対して、指定都市市長におかれては、所管の関係部局・機関・団体に対して、都道府県・指定都市教育委員会教育長におかれては、所管の関係部局・機関・団体及び高等学校等並びに域内の指定都市を除く市区町村教育委員会に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた地方公共団体の長におかれては、域内の学校設置会社及び当該会社が設置した高等学校等に対して周知をお願いします。

また、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会及び公益財団法人全国高等学校体育連盟におかれては、各都道府県加盟団体等に周知されるとともに、当該団体等において事故防止に係る積極的な取組が行われるよう御協力をお願いします。

（本件担当）

【一般の登山に関すること】

スポーツ庁健康スポーツ課

電話 03-5253-4111（内線 3939）

【運動部活動に関すること】

スポーツ庁政策課学校体育室

電話 03-5253-4111（内線 3777）

冬山登山の警告文

冬山の三大リスクに備えましょう

「吹雪」「滑落」「雪崩」に注意

令和3年11月

山岳遭難対策中央協議会

近年ではバックカントリースキーやアイスクライミング、スノーシューハイク等、冬山の楽しみ方も増え、四季を通して山は賑わいを見せるようになりました。

その一方で、毎年冬山では悲しい遭難事故が起っています。冬山登山はレジャーの延長線上にはありません。冬山に潜むリスクを認識して、そのリスクを回避する方法を身に付けた上で入山してください。

「吹雪」：視界を奪い方向感覚を狂わせるだけでなく体力や気力も奪います。

「滑落」：固く凍った雪の斜面は死の滑り台になることがあります。

「雪崩」：簡単に人を飲み込み押し流してしまいます。

雪に覆われた厳しい冬山で安全に登山を楽しむために、次のことに留意してください。

○吹雪から身を守る装備を持ちましょう

寒冷に耐えることができるウェアを着用し、ツェルトや火器等のビバーク装備も携行しましょう。視界不良時には地形図、コンパス、GPSが頼りになります。スマートフォン用の登山地図アプリも現在地を知るためには有効です。また、引き返すことを想定し旗竿やカラーテープ等で目印を付けながら歩くことも大切です。

○ちょっとした転倒が大きな滑落事故につながります

急斜面では転倒した次の瞬間にはどんどん加速して、止めることができないスピードになってしまいます。歩行に少しでも不安がある場所ではロープを利用しましょう。

○雪崩を警戒しましょう

雪の斜面では常に雪崩を警戒しましょう。豊富な知識と経験があっても雪崩を完全に予測することは困難です。

装備を揃えて使い方をマスターするだけでなく、積雪を観察し、地形を読んで、慎重に行動しましょう。たとえ好天時でも油断しないで冬山に入ってください。



* 高校生等の冬山登山は原則禁止です。詳細は、「高校生等の冬山登山の事故防止のための方策について（平成29年11月28日/高校生等の冬山・春山登山の事故防止のための有識者会議）」をご覧ください。

【山岳遭難対策中央協議会構成省庁・団体】（太字は「幹事会」構成省庁・団体）

内閣官房 警察庁 環境省 気象庁 消防庁 林野庁 総務省 防衛省 スポーツ庁
 (独)日本スポーツ振興センター (株)NTT (株)JR東日本 (公財)日本スポーツ協会
 (公社)日本山岳・スポーツクライミング協会 群馬県 山梨県 静岡県 富山県 長野県

山岳遭難が多発しています!!

もう一度点検 計画と対応力

冬の自然は厳しく、急変します。冬山経験豊富な信頼できるリーダーと、事故に対応できる力を持ったパーティーであることが必要です。

- 1 登山計画書はパーティー全員でよく検討し、作成しましたか。
- 2 エスケープルート（万一の時の逃げ道）は考えていますか。
- 3 最新の気象情報を確認していますか。（携帯電話、ラジオ等）
- 4 応急処置のための知識と医薬品・器具は整えましたか。
- 5 雪崩に対する知識・心構えと装備は整えましたか。（雪崩ビーコンなど）
- 6 緊急時の連絡手段は準備しましたか。（無線機、携帯電話などの予備バッテリーも忘れずに！）
- 7 山岳保険の加入は済みましたか。
- 8 事故多発！登山予定の山で発生した過去の事故を確認しましたか。
- 9 条例等で入山が規制されている地域でないか確認しましたか。

登山計画書はあなたを守る命綱

【登山計画書の提出】

- 安全登山のための自己点検の機会となります。
- 山岳遭難の発生を警察が認知できた段階で、遭難した山域を早期に特定することが可能となり、捜索救助活動が迅速かつ合理的に行われます。
- 捜索救助活動にかかる膨大な社会的及び個人的負担を軽減させることができます。
- 家族や関係者を安心させることができます。

【提出先】

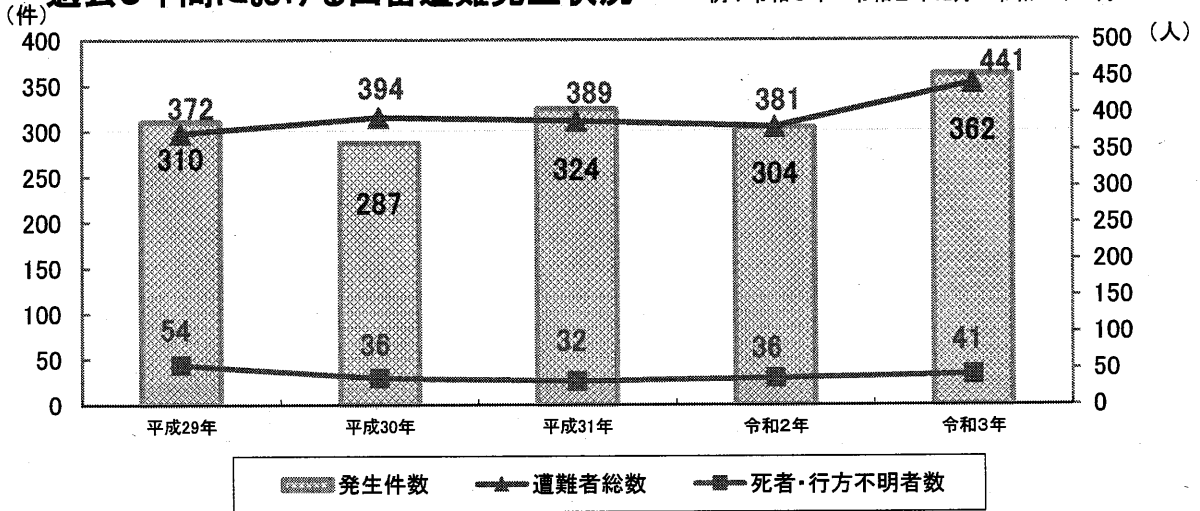
- 知事等（登山計画書の提出が条例で義務化されている場合）
- 家庭、クラブ（山岳会）、職場、学校など
- インターネットの登山計画サイト（山と自然のネットワーク「コンパス」など）
- 山域の登山指導センターや案内所、登山口の登山届ポストなど
- 山域を管轄する警察本部または警察署など
（インターネットを使って届出ができる警察本部等もあります。）

これまでも登山計画書を提出したことにより、早期に救助できたという事例が数多くあります。登山計画書を提出するということは、あなたを守る命綱であると考えて必ず実行しましょう。また、登山計画書の提出先には、下山の報告を忘れずにしてください。

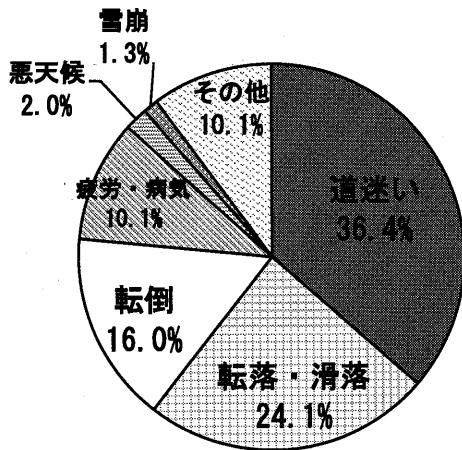
冬山における山岳遭難発生概要

※令和3年の数値は暫定値
 ※この頁における「冬山」とは、12月～2月をいう。
 例：令和3年⇒令和2年12月～令和3年2月

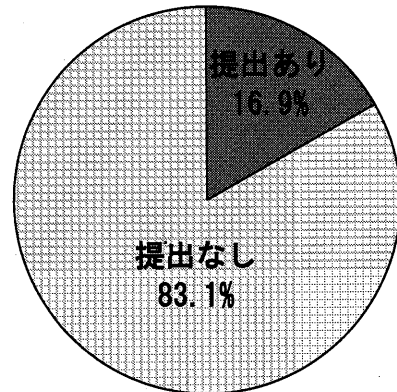
過去5年間における山岳遭難発生状況



【過去5年間の遭難態様の状況】



【過去5年間に遭難したパーティーの登山計画書提出状況】



道迷い、転落・滑落、転倒に注意しましょう！

◎ バックカントリースキーによる遭難に注意！

毎年、警告表示等に従わずコースを外れたスキーヤーやスノーボーダーが、スキー場管理地以外の雪山において遭難するケースが発生しています。このようないわゆるバックカントリースキーは、冬山登山と同様の知識・技能・装備が必要です。安易な行動は厳に慎んでください。

最新の気象状況把握が冬山登山の命綱

～大雪、なだれ、急激な気象変化などに細心の注意を～

冬山の天気は、平地とは比較にならないくらい急激に変化し、悪天が数日継続することも少なくありません。特に低気圧が通過し、その後、強い冬型の気圧配置になる場合、暴風や吹雪、短時間での大雪、なだれ、急激な気温低下により命を奪われるような遭難につながるおそれがあります。**登山の数日前から、最新の気象情報で天気や雪の状況、火山の状況などを確認し、ゆとりある計画を立てることが必要**です。さらに、**登山中も常に最新の気象情報を利用し、気象の急変等に備えた適切な判断が何より重要**と強く認識してください。

気象情報の入手先

常に最新の気象情報を利用することが大切です。ラジオやテレビの他、インターネットや携帯端末を利用した情報の入手も可能です。

(公社)日本山岳・スポーツライミング協会のホームページに、以下の入手先等をまとめていますので、御利用ください。

<https://www.jma-sangaku.or.jp/sangaku/?ca=39>

□気象庁ホームページ

警報・注意報、キキクル（危険度分布）、今後の雪、天気予報の他、地上・高層天気図、気象衛星、アメダス、気象レーダー、ウィンドプロファイラ（上空の風）等の様々な情報を確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

□国土交通省防災情報提供センターホームページ

国土交通省防災情報提供センターホームページでは、河川、道路、気象等の各種防災に関する情報を見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

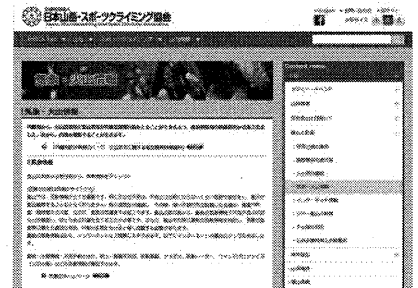
また、その一部を携帯端末向けホームページで見ることができます。

<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

□民間気象会社等のサービス

民間気象会社等では、特定の山を対象に気象情報提供サービスを行っているところがあります。

(詳細は、各民間気象会社等にお尋ねください。)



気象庁ホームページ



防災情報提供センター
携帯端末向けホームページ (Top)

火山情報にも注意

気象庁では、「噴火警報」や「火山の状況に関する解説情報」などを火山ごとに整理した「火山登山者向けの情報提供ページ」(下記URL)を公開しています。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html

また、噴火の発生事実を迅速に発表する「噴火速報」は、ラジオやテレビのほか、民間事業者が提供する携帯端末のアプリ等で知ることが出来ます。火山の噴火に気づいた時、噴火速報が発表された時は直ちに身の安全を図りましょう。噴火速報の説明や民間事業者のサービスについては「噴火速報について」(下記URL)をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/funkasokuho/funkasokuho_toha.html

火山には、噴気や火山ガスが発生している危険な場所があります。登山する山が火山の場合は、火山にどのような危険があるのかを確認して、登山計画を立てましょう。

登山前には、気象庁や地元自治体が発表している最新の情報を確認し、十分注意して登山してください。



火山登山者向けの
情報提供ページ



噴火速報について

主な山岳地の登山についての問い合わせ

山 岳	気 象 情 報		山 岳 情 報	
主な山域の冬山情報	各地域の情報は地方気象台にお問い合わせ下さい。 http://www.jma.go.jp/jma/index.html		警察庁生活安全局生活安全企画課 (03)3581-0141 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/safetylife/sounan.html	
北海道全山域			北海道警察本部地域企画課 (011)251-0110 https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/sangaku-top.html	
利尻山 大雪山系 十勝連峰	稚内地方気象台 (0162)23-2678 旭川地方気象台 (0166)32-6368		北海道警察 旭川方面本部地域課 (0166)35-0110 https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/00ps/asahikawahonbu/kakuka/400_chiiki/401_anzentozan.html	
八甲田山系	青森地方気象台 (017)741-7411		青森県警察本部地域課 (017)723-4211 https://www.police.pref.aomori.jp/seianbu/chiiki/sangakusounansuinansetugai.html	
八幡平	盛岡地方気象台 (019)622-7868 秋田地方気象台 (018)823-8291		岩手県警察本部地域課 (019)653-0110 https://www.pref.iwate.jp/kenkei/oshirase/seikatsuanzen/3000008.html 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111 https://www.police.pref.akita.lg.jp/kenkei/news/tozantodoke	
鳥海山系	山形地方気象台 (023)622-2262 秋田地方気象台 (018)823-8291		山形県警察本部地域課 (023)626-0110 https://www.pref.yamagata.lg.jp/800020/kensei/police/procedures/tozan/tozan-todoke.html 秋田県警察本部地域課 (018)863-1111 https://www.police.pref.akita.lg.jp/kenkei/news/tozantodoke	
蔵王山系	仙台管区気象台 (022)297-8104 山形地方気象台 (023)622-2262		宮城県警察本部地域課 (022)221-7171 https://www.police.pref.miyagi.jp/hp/tiikisitu/tiiki/sangakuiyohou/indexsangakuiyohou.html 山形県警察本部地域課 (023)626-0110 https://www.pref.yamagata.lg.jp/800020/kensei/police/procedures/tozan/tozan-todoke.html	
飯豊連峰	山形地方気象台 (023)622-2262 新潟地方気象台 (025)281-5871 福島地方気象台 (024)534-2162		山形県警察本部地域課 (023)626-0110 https://www.pref.yamagata.lg.jp/800020/kensei/police/procedures/tozan/tozan-todoke.html 新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/osirase-anzen-ansin-mizuyamaissetugaiiko-sangaku-index.html 福島県警察本部総合運用指令課 (024)522-2151 https://www.police.pref.fukushima.jp/07.anzen/-sangaku/-sounan/sangaku_f_top.html	
巻機山連峰	新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)896-1536		新潟県警察本部地域課 (025)285-0110 https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kenkei/osirase-anzen-ansin-mizuyamaissetugaiiko-sangaku-index.html	
苗場山 谷川岳	長野地方気象台 (026)232-2034 新潟地方気象台 (025)281-5871 前橋地方気象台 (027)896-1536		群馬県警察本部地域課 (027)243-0110 https://www.police.pref.gunma.jp/subindex/tozan.html	
草津白根山	長野地方気象台 (026)232-2034			
丹沢山系	横浜地方気象台 (045)621-1991		神奈川県警察本部地域総務課 (045)211-1212 https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesg0004.htm	
奥秩父山系	熊谷地方気象台 (048)521-0058 長野地方気象台 (026)232-2034 甲府地方気象台 (055)222-2347		埼玉県警察本部地域総務課 (048)832-0110 https://www.police.pref.saitama.lg.jp/kurashi/sangaku-suinan/index.html 長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/ 山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 https://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/index.html	
富士山	甲府地方気象台 (055)222-2347 静岡地方気象台 (054)286-3411		山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 https://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/index.html 静岡県警察本部地域課 (054)271-0110 https://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/sangaku/index.html	
中央アルプス 南アルプス 八ヶ岳	長野地方気象台 (026)232-2034 甲府地方気象台 (055)222-2347 静岡地方気象台 (054)286-3411		長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/ 山梨県警察本部地域課 (055)221-0110 https://www.pref.yamanashi.jp/police/sangaku/index.html 静岡県警察本部地域課 (054)271-0110 https://www.pref.shizuoka.jp/police/kurashi/sangaku/index.html	
北アルプス	長野地方気象台 (026)232-2034 富山地方気象台 (076)432-2311 岐阜地方気象台 (058)271-4109		長野県警察本部山岳安全対策課 (026)235-3611(直通) https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/ 富山県警察本部山岳安全課 (076)441-2211 https://police.pref.toyama.jp/anzen/sangakujohou/index.html 岐阜県警察本部地域課 (058)271-2424 https://www.pref.gifu.lg.jp/site/police/4157.html	
大峰山系 台高山系	奈良地方気象台 (0742)22-2555		奈良県警察本部地域課 (0742)23-0110 https://www.police.pref.nara.jp/category/1-1-3-0-0.html	
大 山	鳥取地方気象台 (0857)29-1312		鳥取県警察本部地域課 (0857)23-0110 https://www.pref.tottori.lg.jp/policedaisen/	
石鎚山系	松山地方気象台 (089)941-0012 高知地方気象台 (088)822-8881		愛媛県警察本部地域課 (089)934-0110 https://www.police.pref.ehime.jp/chiiki/tozan.htm 高知県警察本部地域課 (088)826-0110 https://www.police.pref.kochi.lg.jp/sections/seian/chiiki/tozan_top.html	
背振山系 多良山系	佐賀地方気象台 (0952)32-7027		佐賀県警察本部地域課 (0952)24-1111 https://www.police.pref.saga.jp/kurashi/machizukuri/3538.html	
屋久島	鹿児島地方気象台 (099)250-9913		鹿児島県屋久島警察署 (0997)46-2110 https://www.pref.kagoshima.jp/ja10/police/shinsei/sonota/sanngaku.html	

冬山装備チェックリスト

登山目的にあった装備を持参しよう。山岳保険へ加入しましょう！
(○は必ず持参のもの。△は状況によって持参のもの。)

品名	品名	品名
○ズボン	○筆記具	○シュラフ(スリーピングバッグ)
○シャツ	○携帯トイレ	○シュラフカバー
○アンダーウェア上下	○ロールペーパー	
○靴下(ソックス)・予備靴下	○タオル・手拭	○標識布・竹竿
○登山靴	○ポリ袋	○ザイル(ロープ)
○帽子・防寒帽(目出帽)	○ヘッドランプ	○ハーネス
○手袋(グローブ)・予備手袋	○ラジオ	○カラビナ
○防寒衣(セーター・羽毛服)	○予備バッテリー・電球	○スリング各種
○防風防水透湿パーカ	○修理用具一式	○ヘルメット
○防風防水透湿オーバーパンツ	○ナイフ	
○オーバーミトン	○コックフェル・炊事用具	△GPS
○ロングスパッツ	○食器類	△カメラ
○ルックザック	○コンロ(バーナー)	△サングラス
○行動食・非常食	○燃料・予備燃料	△トランシーバー(予備電池)
○保温ボトル(魔法瓶)・水筒	○ライター・マッチ	△天気図用紙
○ゴーグル		△ローソク
○時計	○ホイッスル	△伸縮式ストック
○スマートフォン(バッテリーパック)	○ツェルト	△サブザック
○高度計	○マット	△ランタン
○コンパス	○レスキューシート	△油性太字ペン
○1/25000地形図	○ファーストエイドキット	△装備整理袋
○ルート図	○ピッケル	
○登山計画書	○アイゼン	△テント一式
○身分証明書	○輪かんじき・スノーシュー	△大型スノーシャベル
○健康保険証	○スノーシャベル	△スノーソー
○緊急連絡票	○雪崩ビーコン	
	○携帯ゾンデ棒(プローブ)	△各種登攀用具

※この装備リストは冬山の標準的な装備です。対象とする山の難易度、登山方法により必要な装備は変わりますので、事前にパーティーで装備の要否や追加装備の有無をよく検討してください。

忘れない 安全準備と山への感謝

新型コロナウイルス感染防止のための新しい登山様式

これから登山を行うにあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を最大限講じた新しい登山様式が必要です。登山愛好者の皆様におかれてはこの「新しい登山様式」を参考にしていただき安全安心な登山を楽しみましょう。

A：登山計画とアプローチ

- 最初は歩行時間の短いハイキングや日帰り登山から始め、体力を確認しましょう。
- 山域を管轄する自治体の移動制限等の情報、公共交通機関の運行状況や登山口までのアクセス情報を必ず確認してください。
- テント場や山小屋を利用する際は事前に管理者に連絡し、運営状況や感染拡大防止のためのルールを確認してください。
- メンバー数は密集・密接を避けるため少人数を推奨します。
- 接触確認アプリ「COCOA」を積極的に活用してください。



B：登山前の体調管理

- 日頃から自身の体温、健康管理を行いましょ。
- 平熱を超える発熱や少しでも風邪症状があれば入山を中止してください。
- 家族、友人、身近な知人等に感染が疑われる方がいる場合、また過去（2週間前以内）に感染者と接触した場合も入山は控えてください。



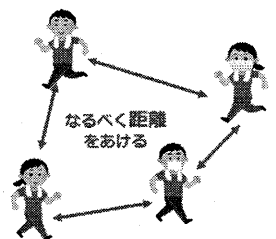
C：登山装備（通常の登山装備に加えて）

- 日帰り：マスク（バンダナなどでの代用も可能）、アルコール消毒液、体温計（接触型）、使い捨て手袋、ファスナー付きポリ袋
- 宿泊：寝袋（小屋に寝具がある場合も持参）、ウエットティッシュ
- 自分が出したゴミは密封し、必ず持ち帰るようにしましょう。



D：登山行動中

- 行動中は周囲の人と2m以上の距離をあげましょ。熱中症のリスクが高くなることから、行動中に息苦しさや暑さを感じる際はマスクを外ましょ（会話をする等、状況に応じてマスクを着用）。
- アルコール消毒液でこまめに手指消毒を行いましょ。
- 体調不良のメンバーがでた場合は新型コロナウイルス感染症を念頭において手当てましょ。自力歩行が可能な場合は速やかに下山してください。



おわりに

登山者自身が今までの登山とは異なり、常に感染予防が必要であることを意識しながら新しい登山様式を心がけてください。

団体名

作成：全国山岳遭難対策中央協議会

参考：日本山岳・スポーツライミング協会「登山再開に向けてのガイドライン」より